



特定非営利活動法人 アイユーゴー通信 第 26 号

〒590-0432 大阪府泉南郡熊取町山の手台 1-22-10

TEL / FAX: 072-452-5680

e-mail: snittaskmj0715@yahoo.co.jp

homepage: (2017 年 8 月 現在改定中)

目 次

特集 マダガスカルの教育問題について (副理事長 加藤鐘三)
イオン幸せの黄色いレシート活動 (理事 事務長 岩見和孝)

- 1) 平成 28(2016)年度 事業活動
- 2) 国内活動報告 総会・理事会
- 3) 平成 28(2016)年度 収支決算報告
- 4) 平成 29(2017)年度 事業計画
- 5) 後記



アイユーゴーの活動 理事長 新田幸夫



アイユーゴーの活動にご理解とご支援をいただき感謝いたします。平成 28(2016)年度の総会を去る 6 月 25 日に京都で行いました。事業報告と収支報告を審議し、次年度の事業の展開を検討して、全員の賛成をもって次年度に向かうことになりました。今年は総会開催日が 6 月下旬になりました。ようやく本格的なホ

ームページを立ち上げることにになり、その打ち合わせも同時に行うことにしましたために遅くなりました。ホームページができますと、アイユーゴーはこれまで何をしてきたのかがお分かりになると思います。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

<特集>

マダガスカルの教育問題について

報告者 アイユーゴー副理事長 加藤鐘三



ラクトマナ・アンビニツア氏

今回平成 29(2017)年度定時総会で、来日していたマダガスカルの「NGO さくら」のメンバーであるラクトマナ・アンビニツア氏 (6 月中旬から 1 か月間、大阪府泉南郡の国際交流基金関西国際センターで日本語などの研修を受けていた) に「マダガスカルの教育問題について」として題した講演を頂いた。

「NGO さくら」は、マダガスカルの大学教員らを中心に 10 数名によって 2007 年に設立され、すべてのメンバーが日本へ

の留学経験者というユニークな NGO である。アイユーゴーが 2007 年 10 月に熊取町から委託を受け、マダガスカルに救急車を運んだ時のパートナーが「NGO さくら」だった。以来、マダガスカルの農村地域の生活改善、子供たちの教育、環境保護などを共に考え、協力して支援活動を行っている。



左より、新田氏、アンビ氏、ラライナ氏 アンボヒダバ村で住民たちと植栽

講演はマダガスカルの一般情報、教育制度、教育問題について写真を含めパワーポイントにて報告された。私を含め参加したアイユーゴーメンバーは、この国について決して詳しくなく、アイユーゴーの活動を通じて自立支援をしてきたタイ・ベトナム・ラオスなどの東南アジア諸国と比較しながら講演をお聴きした。

まずは一般情報として、アフリカの位置、島の大きさや首都の名前、主食が米であることや主な産業、人口と人口推移、更には宗教や 1960 年までフランスの植民地であったこと、そのために今でも公用語はマダガスカル語とフランス語であり、テレビ番組や新聞も約 75%がフランス語であることなどについて報告された。



続いて、教育制度については、小学校は義務教育で、小・中・高と 5・4・3 制であること。しかし実際は小学校に通うことができない子供が少なくないことや、高校の卒業率が 42%程度であること。大学進学が多くないことや途中でやめてしまう人が多いこと。更に、授業は小学

校からフランス語を勉強しフランス語で授業を受け、一方で中学から英語を勉強し始め、高校からはドイツ語、スペイン語、ロシア語を選択し授業を受ける。2016 年からはアンタナナリボ大学に日本語教育センターが開設されたと報告された。始めは、日本とよく似た制度と感じて聴いていたが、報告を聴くに従い様々な問題が絡み合っている現状が理解できました。

最後にこうした現状を踏まえ教育問題について、まず教育設備が十分でないこと。又、学校までが遠いこと。教育者が足りないこととレベルの問題。資格がない教師が多い現状について語られた。アンビ氏は、こうした問題を解決するためには、「法律を変える」「マダガスカル人一人ひとりが責任をとる必要がある」、さらに「政府と NGO の協力」を必須条件として挙げられた。その後、参加したメンバーからの様々な質問に答え、アンビ氏のマダガスカルの教育に対する熱い思いのこもった講演は終了した。

<「イオン幸せの黄色いレシート」活動>

<http://www.aeon.info/environment/yellow>

アイユーゴー理事 事務長 岩見 和孝
アイユーゴーの地域活動として、イオンモールりんくう店の黄色いレシートキャンペーンに登録活動しております。2001 年より、毎月 11 日の「イオン・デー」に、実施されている「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」は、お客様がレジ精算時に受け取った黄色いレシートを地域のボランティア団体名が書かれた BOX に投函して下さることで、レシート金額合計の 1%分がそれぞれの団体に品物で還元されます。アイユーゴーでは還元された品物は主に事務品などを頂いております。

活動としては 11 日に食品売り場レジ出口付近でお客様に黄色いレシートキャンペーンを呼びかけ、アイユーゴーへ投函をお願いしております。活動当初はお客様のキャンペーンの認知度が低く、何のキャンペーンか質問を受けたりしましたが、最近ではほとんどの人がご存知のようで投函して頂いております。

特定非営利活動法人アイユーゴーは、イオン様及びご協力して頂いた方々へ改めて感謝を伝えさせて頂くと共に、今後もイオン様の黄色いレシートキャンペーンの協力を得ながら、途上国の自立支援を行ってまいります。



主義共和国とマダガスカル共和国で次の 4 事業を行いました。

(1) 図書館建設事業

事業地：ベトナム社会主義国 Quang Nam 省 Nam Tra 地区。
助成：一般財団法人ひろしま祈りの石国際教育交流財団様



(2) 保健・医療の増進を図る日越合同セミナー事業

事業地：ベトナム・ホーチミン市 セミナー会場（ホーチミン大学・チョウライ病院、他）
助成：公益財団法人 三菱 UFJ 国際財団様



リハビリ病院にて視察



学生の報告後に三木教授による補足説明



Cho Rai 病院にて質疑応答

(3) 環境保全事業

事業地：マダガスカル・マンゴロ県 Ambohidava village, Ambatosotra commune, Alaotra Mangoro Region
助成：公益社団法人 国土緑化推進機構様

1) 平成 28 (2016) 年度 事業活動

<平成 28 (2016) 年 4 月 1 日～平成 29 (2017) 年 3 月 31 日>
平成 28 (2016) 年度は、ベトナム社会



(4) 古着の寄贈事業

ご協力：森崎シヅ子様他(熊取町在住)より古着・文房具等のご寄付を受ける。

- ① 寄贈先：ベトナム(ダナン)の少数民族の子供たちに古着を寄贈しました。(図書館建設現場の村)



- ② 寄贈先：マダガスカルのアンボヒダバ村の子供たちに古着を寄贈しました。(植林現場の村)



2) 国内活動報告 総会・理事会

1. 社員総会

日時：平成 28(2016)年 6 月 4 日 午後 3 時～午後 5 時

会場：京都府国際センター

出席数：総会出席者数 9 名、委任状出席者数 14 名

審議事項：

- 1) 平成 27 年度の①事業報告、②収支計算書、③貸借対照表、④財産目録の件
- 2) 役員(理事・監事)任期満了につき改選の件
- 3) 平成 28 年度の予算案と事業計画案の件

2. 臨時理事会

日時：平成 28(2016)年 7 月 17 日 午後 3 時～午後 5 時 30 分

会場：京都府国際センター

出席数：7 名(委任状出席数 6 名)

審議事項：

- 1) 役員名簿の確認
- 2) 理事担当職務案

3. 9 月理事会

日時：平成 28(2016)年 9 月 18 日午後 3 時～午後 4 時 55 分

会場：ホテル京阪京都 Octavar (オクターヴァ)

出席数：6 名(委任状出席数 7 名)

審議事項：

- 1) 2016 年度事業の進捗状況

(1) 図書館建設事業、(2) 保健・医療の増進を図る日越合同セミナー事業、(3) 環境保全事業、(4) 経済活動の活性化を図る活動

4. 12 月理事会

日時：平成 28(2016)年 12 月 11 日午後 3 時～午後 5 時

会場：京都キャンパスプラザ

出席数：6 名(委任状出席数 6 名)

審議事項：

- (1) 2016 年度事業の進捗状況
- (2) 団体広報活動(ホームページ)に関する協議報告と今後の進め方について
- (3) 役員交流・意見交換会の準備状況について
- (4) セミナー等プログラム参加者の海外派遣によるリスク管理について

3) 平成 28(2016)年度 収支決算報告

平成 28 年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)		
科 目	金 額 (単位 円)	
I 収入の部	小計	合計
1. 会費収入		330,000
正会員	301,000	
賛助会員	29,000	
賛助法人	0	
2. 募金・寄付金収入		1,077,023
一般寄付	1,077,023	

3. 自主事業収入	0	0
4. 助成金収入		2,844,538
三菱 UFJ 国際財団	400,000	
ひろしま祈りの石	1,339,000	
国土緑化推進機構	1,105,538	
5. 雑収入	0	0
経常収入合計 (A)		4,251,561
Ⅱ 支出の部	小計	合計
1. 事業費		3,859,570
資機材費	2,227,302	
資材運搬費	109,987	
現地移動費	171,930	
現地事業運営費	81,200	
スタッフ派遣経費	752,560	
専門家費用	61,038	
現地管理費	10,000	
現地スタッフ経費	68,772	
セミナー経費	376,781	
2. 管理費	2,400	209,794
租税公課	40,611	
旅費交通費	16,046	
宿泊費	48,932	
会議費	31,727	
通信費	57,987	
事務費	12,091	
雑費		
経常支出合計 (B)		4,069,364
経常収支差額 (A-B)		182,197
Ⅲ その他の資金収入の部		3
1. 受取利息		
普通預金利息	3	
2. その他の事業会計からの繰入		
その他資金収入合計	0	0
Ⅳ その他資金支出の部		0
その他資金支出金額		
当期収支差額		182,200
前期繰越収支差額		-550,570
次期繰り越し収支差額		-368,370

2. 固定資産		0
電話加入権	0	
資産合計 (A)		26,016
Ⅱ 負債の部	小計	合計
1. 流動負債		394,386
短期借入金	394,386	
2. 固定負債		0
固定負債合計	0	
負債合計 (B)		394,386
正味財産 (A-B)		-368,370

4) 平成 29(2017) 年度 事業計画

＜平成 29(2017) 年 4 月 1 日～平成 30(2018) 年 3 月 31 日＞
平成 29(2017) 年度においては、主に以下の事業を行います。

(1) 図書館建設事業

- ・事業名：都会に住む貧しい子供たちのための図書館建設
- ・助 成：一般財団法人 ひろしま祈りの石国際教育交流財団様

- ・事業地：マダガスカル共和国アンタナナリボ市アンボヒマンダクリー

(2) 国際社会におけるリーダー育成事業

- ・事業名：医療・福祉の日本・ベトナム合同セミナー
- ・助 成：公益財団法人 三菱 UFJ 国際財団様
- ・事業目的：医療・福祉関係の両国の学生が交流を通して、グローバルリーダーとして、ミッションを持って、社会に貢献する意識を高めること。
- ・事業地：ベトナム社会主義国、ホーチミン大学、ダラット大学（少数民族の村を視察し医療福祉問題を考える）

(3) 環境保全事業

- ・事業名：マダガスカル北部の山岳地帯の土砂流失防止のための植林による整備事業
- ・助 成：公益社団法人 国土緑化推進機構様
- ・事業地：マダガスカル共和国、アンボヒダヴァ村(village)で草原を整備して、自生種の樹木等を植樹し、土砂災害を防ぎ、森林の再生と保全に貢献する植林事業を行うこと。

6) 後記

わたしたちは、協力を必要とする人たちの自立を目指した開発援助を行っています。困った人たちがいれば、その人たちのそばに行ってみませんか、そして、何かできることがあれば、一緒にしてみませんか。皆様のご参加・ご協力を心からお待ちしております。

現地のプロジェクトの費用が不足しています。ご寄付をお願いいたします。どうか、ご協力のほどよろしくお願い致します。

e-mail : snittaskmj0715@yahoo.co.jp

HP : 2017 年 9 月公開予定

振込先：特定非営利活動法人アイユーゴー 理事長 新田幸夫

・ゆうちょ銀行 : 00930-9-144252

・三井住友銀行 阿倍野支店 : 7,479,470

平成 28 年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)		
科 目	金 額 (単位 円)	
Ⅰ 資産の部	小計	合計
1. 流動資産		26,016
現金	0	
三井住友銀行	8,405	
新ゆうちょ銀行	17,611	
貯金事務センター	0	
未収入金	0	

